

## 1. はじめに

この度は、手動昇降スタンドをお買い求めいただきましてありがとうございます。  
本製品はバネ式の昇降装置を使用していますので、搭載できるディスプレイの重量が限られています。  
設置前に、お手持ちのディスプレイが本製品に搭載できるか必ずご確認ください。  
また、設置の際には電動ドライバーと13mmのソケットレンチが必要となります。本製品には付属しておりますのでお客様の方でご注意ください。

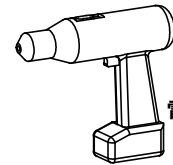
## MH-400LC 搭載可能荷重

56 - 79 kg

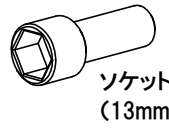
## MH-400MC 搭載可能荷重

28 - 55 kg

## 必要な工具



電動ドライバー

ソケットレンチ  
(13mm)

**注意** ご使用になる前に必ずお読みください。(本書は大切に保管してください)

## ■安全にご使用頂くために

本書では危険を伴う操作・お取扱について、次の警告記号を用いて重要な部分が一目で判るようにしています。内容を良くご理解の上で本文をお読みください。



**警告** この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡又は、重症を負う可能性が想定される内容を示します。



**注意** この表示を無視した取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

## ●設置 注意

- ディスプレイを取り付ける際はディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けないで下さい。機器の破損の原因となります。
- ディスプレイの取付は必ず二人以上の作業員で行ってください。転倒及び落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- やわらかい床面、傾いたところなど不安定な場所に設置しないで下さい。転倒し怪我の原因となることがあります。
- 設置場所が決定したら、キャスターのストッパーをかけ、本機が自走しないようにしてください。不意に動き出すと怪我の原因となることがあります。
- 搭載荷重以上のものを搭載すると転倒し機器の破損、怪我をする恐れがありますので搭載物の重量を確認し搭載してください。

## ●使用方法 注意

- 本製品にディスプレイを搭載した状態で移動する際は、見通しが悪くなりますので周囲を確認し二人以上でゆっくり移動してください。
- 移動時段差がある場合はディスプレイを本機より降ろし移動してください。
- 本製品を使用しない際や移動させる際は、必ず昇降装置のロックをかけてください。不意に動き出すと怪我の原因となることがあります。
- 本機に乗る、脚をかける、ぶら下がる、棚の上に乗る等の行為をすると転倒し怪我の原因となることがあります。
- 設置後はボルト、ノブ等の緩みがないか定期点検を実施してください。

## 2. ディスプレイ搭載手順

## ●ディスプレイ取付用ネジについて

- 本製品にはディスプレイ取付ネジを同梱しております。取付されるディスプレイのメーカー・型式によって使用するネジが異なりますので、予めディスプレイ取扱説明書もしくは下記弊社ホームページでネジサイズをご確認の上、使用ください。
- ディスプレイ型式・メーカーによっては、添付ネジで取付できない場合がありますので、その際は、お近くのホームセンターで買い求めください。

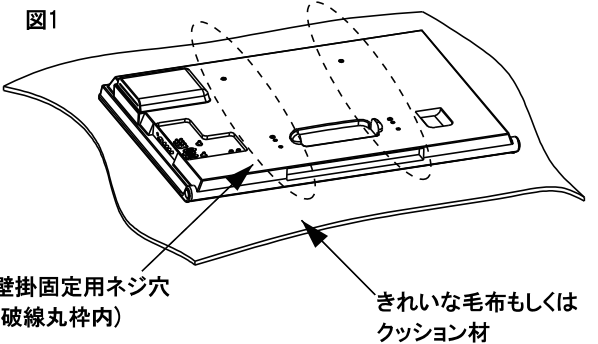
URL <http://www.world-sds.co.jp/furniture/furniture.html>



## 注意

- ディスプレイの取付は必ず二人以上の作業員で行ってください。転倒及び落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- ディスプレイ表示面にキズがつく恐れがありますので、きれいな毛布もしくはクッション材をご用意ください。

- ディスプレイ付属のスタンドが付いている場合は取り外してください。取り外し方法についてはディスプレイ取扱説明書をご参照ください。
  - 付属スタンドからディスプレイを外し、ディスプレイ表示部を下にし、きれいな毛布もしくはクッション材の上に置いてください。(図1)
  - ディスプレイ背面に壁掛固定用のネジ穴がありますのでディスプレイ取扱説明書で取付位置等をご確認ください。
- ※ディスプレイによってはキャップが付いている場合がありますので取扱説明書に従って取り外してください。



- 本製品に付属しているディスプレイ取付金具をディスプレイ背面の壁掛固定用ネジ穴に合せてください。(図2)

- ディスプレイ取付金具を壁掛固定用ネジ穴に合せ、付属ドライバーにて固定ネジをしっかりと締め込み取り付けてください。(図3)
- ※壁掛固定用ネジはディスプレイメーカーが推奨するものを使用してください。

図2

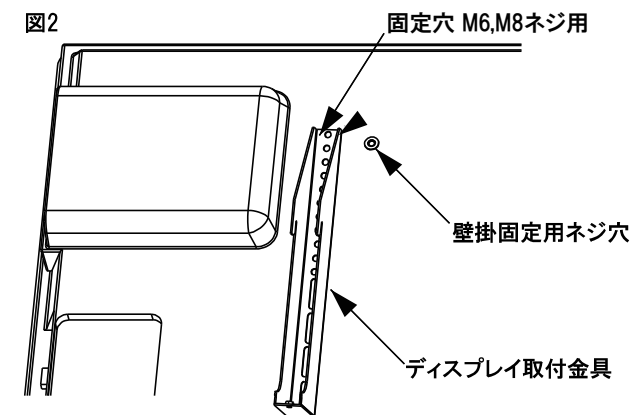
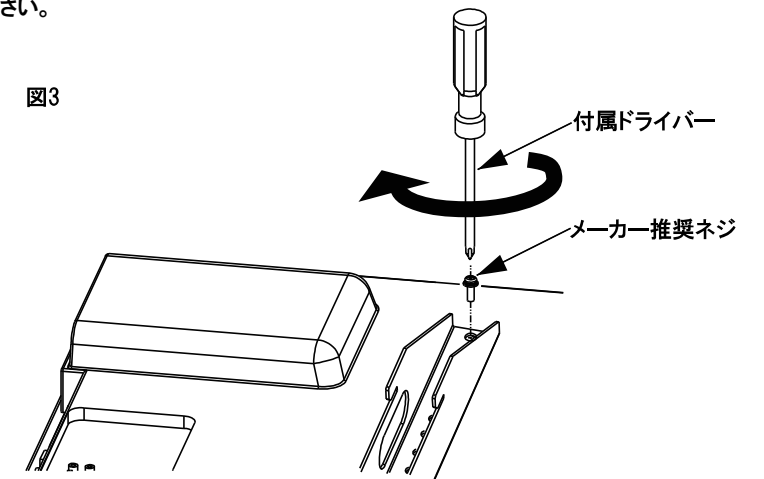


図3



## 注意

- ディスプレイの取付は必ず二人以上の作業員で行ってください。転倒及び落下し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- 取付金具固定ネジで固定する際は機器の下にもぐりこまないでください。

- ディスプレイ取付金具を付け終えたら、ディスプレイを二人以上の作業員で支え、本機のマウントプレートにディスプレイ取付金具を引掛けるように設置してください。(図4)
- ※必ず確実に引掛かっているかを確認してください。

- 設置後、ディスプレイ取付金具とマウントプレートを付属のドライバーでナベネジ M5×15にて下部よりしっかりと固定して下さい。(図5)

図4

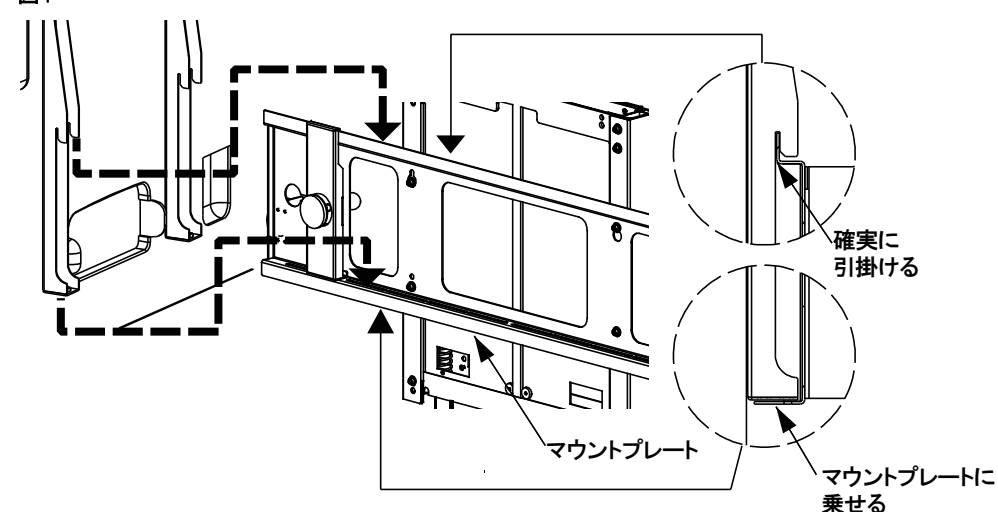
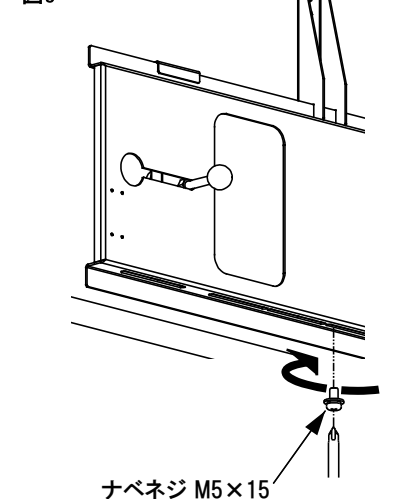


図5



## 3. 昇降装置調整

### 1 保持力調整



#### 警告

- 本製品に取付可能なディスプレイの重量範囲は、MH-400LCが56kg～79kg、MH-400MCが28kg～55kgとなっております。重量範囲外のディスプレイでは、昇降時の保持力を調整することはできません。無理に調整を行いますと故障の原因になります。
- 保持力を調整する際は、必ず左右パネ上端の金具の位置が同じ高さになるように調整し、保持力に偏りが無いよう調節してください。保持力に偏りが生じるとスムーズな昇降が行えないだけでなく、故障により思わぬ事故につながる恐れがあります。

- 保持力の調整を行う際は、項目4. 使用方法の「昇降装置のロック」の項目をよく読み、昇降装置のロックを解除してください。
- 電動ドライバーに13mmソケットレンチを取付け、昇降装置上部にある六角ボルトを回転させてください。(図6)  
(ナットを反時計回りに回転させますと、昇降装置の保持力が弱くなります。)
- 昇降装置上部の六角ボルトを回転させますと、パネ上端の金具の位置が移動します。金具が下に移動しますと昇降装置の保持力が弱くなります。スタンド裏側のスリットより金具の位置を確認し、左右の金具の高さが同じになるように調節してください。(図7)
- 昇降装置が上下にスムーズに移動できるようになるまで、保持力を調節してください。

図6

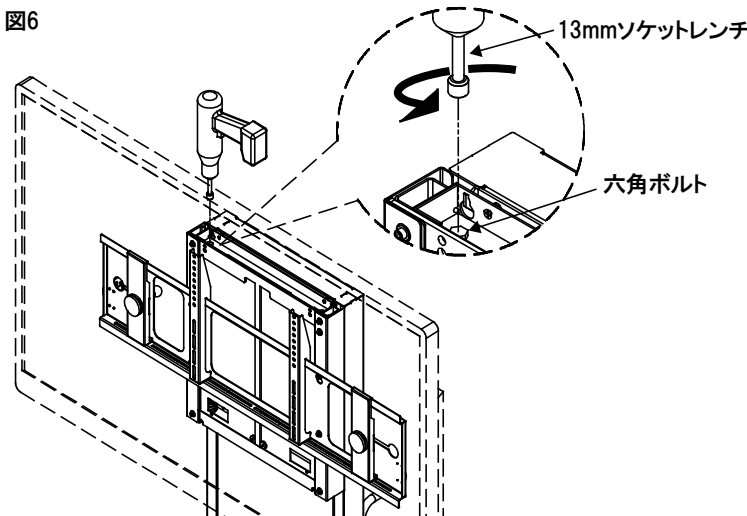
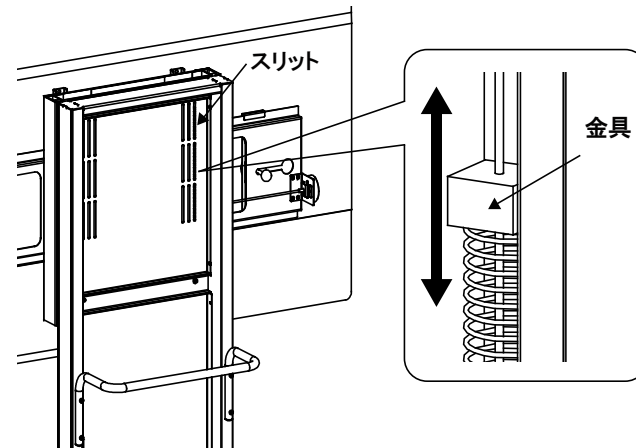


図7



### 2 角度調整

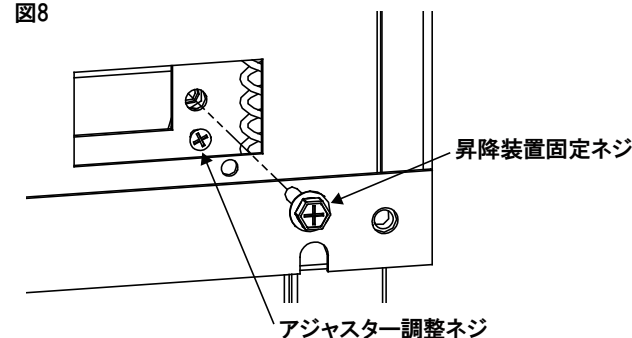


#### 警告

- 角度調整を行う際には、必ずディスプレイを取り外してから作業を行ってください。
- ディスプレイを取り外す際には、必ずディスプレイを一番高い位置まで上げてから行ってください。  
低い位置でディスプレイを取り外そうとした場合、マウントプレートが跳ね上がり怪我をする恐れがあります。

- 重たいディスプレイを取り付けた場合、ディスプレイ画面が少々下に垂れ下がる場合があります。その際には、ディスプレイを一度取り外し昇降装置固定ネジを外した後に、アジャスター調整ネジを回し角度調整を行ってください。(図8)

図8

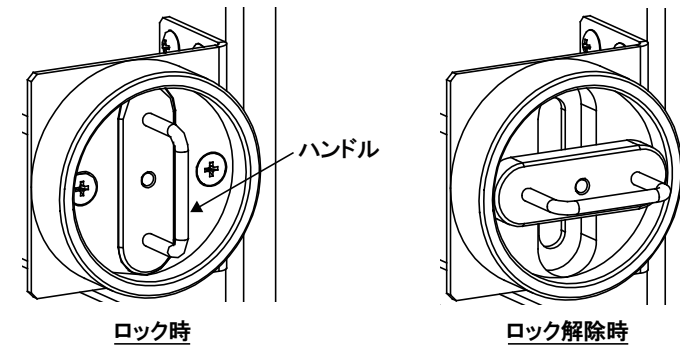


## 4. 使用方法

### 1 昇降装置のロック

- ディスプレイを昇降させる際は、昇降装置のロックを解除してください。ストッパー金具のハンドルを引き、90度回転させ手前に引掛けますとロックが外れます。(図9)
- 昇降装置をロックさせる際は、ハンドルを90度回転させ窪みに落としますとロックがかかります。

図9



### 2 ディスプレイの昇降

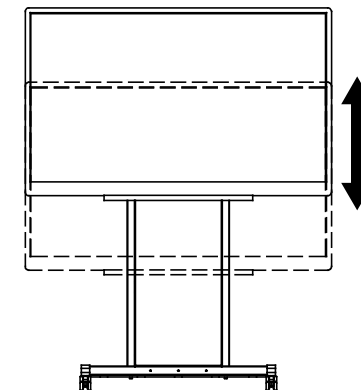


#### 注意

- 昇降装置のロックを掛けた状態で、ディスプレイを無理に昇降させないでください。
- ディスプレイの昇降はゆっくり行ってください。過剰に力を掛けますと故障の原因となります。

- ディスプレイを軽く手で支え上下に昇降させてください。上下に400mmの昇降が可能です。(図10)

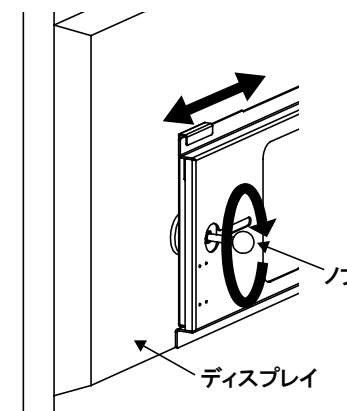
図10



### 3 防振パッド

- マウントプレート両側の防振パッドをご使用のディスプレイに合わせて横方向へスライドし、背面のノブを時計回りに回すとパッドがせり出てきますのでディスプレイの背面に当たるまでノブを回してください。(図11)

図11



## 4 キャスターの固定方法

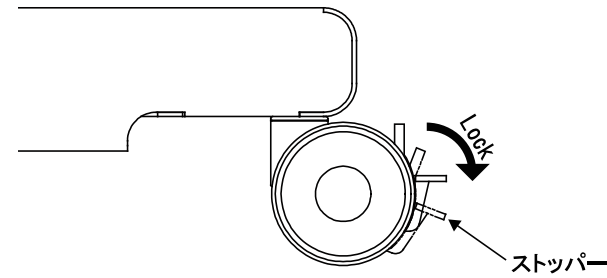


### 注意

- 設置場所が決定したら、キャスター後輪のストッパーをかけ、自走しないようにしてください。不意に動き出し転倒し機器の破損、怪我をする恐れがあります。
- 移動時はキャスターのストッパーを解除してください。キャスターが破損する恐れがあります。

■キャスターのストッパーつまみを下方向へ倒すとロックがかかります。(図12)

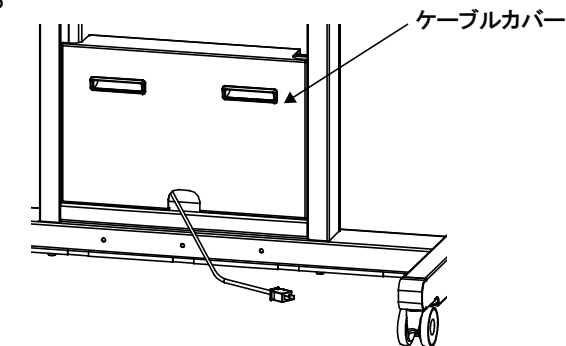
図12



## 5 配線ケーブルの収納

- 背面にあるケーブルカバー内にケーブルを収納できますのでケーブルカバーを取り外しケーブルをまとめて収納してください。(図13)

図13



## 5. 仕様図

